



令和元年度
看護学生のための
地域医療体験研修 報告集

研修日 令和元年8月6日（火）～8月7日（水）

福島県会津保健福祉事務所
福島県南会津保健福祉事務所

目 次

1	実施要項	1
2	スケジュール	2
3	からむし織体験と元織姫の方との懇談	3
4	昭和村保健・医療・福祉総合センターすみれ荘での研修	4
5	地域の医療職、役場職員との懇談	6
6	只見町国民健康保険朝日診療所での研修	7
7	研修のまとめ、発表	9
8	参加者の体験談	13

1 実施要項

1 目的

地域医療に関心を持つ看護学生に対して、地域医療の見学や看護職等との意見交換、また、地域の文化やそこで暮らす住民と直接触れ合う場を提供することにより、過疎・中山間地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

2 開催日 令和元年8月6日（火）～8月7日（水）1泊2日

3 対象者 下記に在籍し、地域医療に関心を持つ看護学生

（1）会津管内の看護学校（高校生を除く）

（2）会津・南会津保健福祉事務所で実習を行っている教育機関

4 参加者

10名（仁愛看護福祉専門学校2名、竹田看護専門学校3名、福島県立医科大学2名、ポラリス保健看護学院3名）

5 内容

（1）地域医療を担う医療現場及び保健活動の場を知る

奥会津地域の医療現場を見学し、地域医療への理解を深める。

〔見学先〕昭和村保健・医療・福祉関連施設（昭和村）

只見町国民健康保険朝日診療所（只見町）

（2）地域で働く看護職等の実情を知る

看護職等との意見交換や懇談を通じて、地域で働く看護職等の生の声を聴くことにより、地域医療を支える看護職への理解を深める。

（3）地域で生活する人の現状を知る

通院患者との面接や自宅で生活している患者さんへの家庭訪問を通じて、疾患を持ちながら地域で生活している人々への理解を深めるとともに、地域の文化に触れ、そこで生活している方と交流することで、過疎・中山間地域における生活の現状や魅力について理解を深める。

6 宿泊場所 しらかば荘

（住所：昭和村大字野尻字廻り戸1178 電話0241-57-2585）

2 スケジュール

月日	時間	行程	場所
8月6日 (火)	8:45	会津保健福祉事務所 集合	9:00 出発
	9:00~11:00	移動 (会津若松市→昭和村)	↓
	11:00~12:00	からむし織体験	織姫交流館
	12:00~13:00	昼食・織姫の方と交流	道の駅
	13:00~13:20	移動	
	13:20~17:15	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学 ・診察見学 ・在宅療養生活の実際(ALS患者を通して) ・家庭訪問 ・認知症カフェへの参加 ・一日のまとめ 等 	昭和村保健・医療・福祉総合センター「すみれ荘」
	17:15~17:45	移動 (すみれ荘→しらかば荘)	↓
	17:45~18:30	自由時間	昭和温泉しらかば荘
18:30~20:00	地域の看護職等との懇談(夕食)		
8月7日 (水)	6:30~8:00	準備・朝食	昭和温泉しらかば荘
	8:10~9:20	移動	↓
	9:30~12:00	受診同行、診療所の概要説明と見学 通院患者へのインタビュー等	只見町国保朝日診療所
	12:00~13:00	昼食(医師と会食)	↓
	13:00~14:30	研修まとめ(グループワーク、発表)	
	14:30~16:30	移動 (只見町→会津若松市)	会津保福 16:30着
	16:30	会津保健福祉事務所 解散	



3 からむし織体験と元織姫の方との懇談

- 【日時】 8月6日（火） 11:00～13:00
【場所】 道の駅からむし織の里しょうわ、郷土料理伝承館芋麻庵
（大沼郡昭和村佐倉字上ノ原1）
【目的】 地域の文化に触れ、昭和村の魅力を知ること、地域住民の方が大切にしているものについて考えることができる。

□ からむし織体験

道の駅からむし織の里しょうわの駅長であり、元織姫の舟木容子さんに教えていただきながら、からむし織を体験しました。

実際に体験することで、からむし織の難しさや楽しさ、魅力を感じることができました。



□ 元織姫の方との懇談

郷土料理伝承館芋麻庵で、おいしい昼食を頂きながら、舟木駅長さんと懇談し、昭和村のこと、織姫のことなどについてお話をいただきました。



【参加者の声（事後アンケートより）】

- からむし織を実際にやってみて難しさも知ることができ、楽しくやることができました。
- 楽しくてまたやりたいと思った。
- 駅長さんとの懇談会では、その地域の良さや環境などを知り、昭和村の良さに気づいた。
- とてもパワーのある駅長さんの話を聞いて、やりたいと思ったことは恐れずにチャレンジしてみようと思った。

4 昭和村保健・医療・福祉総合センター すみれ荘での研修

- 【日時】 8月6日（火） 13:20～17:15
- 【場所】 昭和村保健・医療・福祉総合センターすみれ荘
（大沼郡昭和村大字小中津川字石仏1836）
- 【目的】 施設の概要説明や見学、家庭訪問や利用者とのコミュニケーション、スタッフとの意見交換を通して、過疎・中山間地域の住民の生活状況や生活を支える保健・医療・福祉について理解する。
病気をもちながら地域で生活する方の思いを知り、その方を支える仕組みや体制を理解することができる。

□ 施設内見学、概要説明

昭和村保健福祉課永戸課長に施設を案内していただきました。



□ 在宅療養生活を支える関連機関との交流



昭和村での在宅療養生活を支えている仕組みについて、ケアマネージャーさん、看護師さん、ヘルパーさんそれぞれの立場から説明していただきました。

住民の方の思いを尊重し、それを支える多職種連携について学ぶことができました。

□ 家庭訪問（Aグループ3名）

昭和村で療養生活をされている方のお宅へ昭和村の横田保健師さんと訪問させていただきました。家庭訪問が初めての学生ばかりでしたが、ご本人・ご家族にあたたかく迎えていただきました。

お2人へのインタビューで、地域で生活することへの思いなどをお聞きすることができ、とても貴重な体験をさせていただきました。

また、県立南会津病院の訪問看護の様子を見学し、訪問看護師さんへインタビューをさせていただきました。

□ 認知症カフェへの参加（B・Cグループ7名）



認知症カフェ「めけめけ」に参加し、地域住民の方とNPO 法人芋麻倶楽部の和泉さんと交流させていただきました。

地域での生活などについてお聞きすることができました。

□ 昭和ホームの見学（Bグループ3名）

施設案内と概要説明をしていただいた後、施設長、看護師さんと意見交換をさせていただきました。施設長からは、診療所が近くにあり安心して生活できる環境が整っている。入所を心待ちにしている住民のためにも、新設したホームの全面開設を目指しているとの説明がありました。

□ デイサービスの見学（Cグループ4名）

施設案内と概要説明をしていただいた後、利用者の方と交流させていただきました。

実習も始まっていない学生が多かったので、最初は緊張した面持ちでしたが、利用者、スタッフの方々があたたかく受け入れてくださり、楽しい時間を過ごすことができました。

□ 今井先生との意見交換

診察終了後に今井診療所長から在宅で暮らす患者さんを支える医療体制について説明していただきました。また、地域の特性や医療人としての心構えなども教えていただき、将来の励みになりました。

【参加者の声（事後アンケートより）】

- 村全体で村の人々を医療や福祉の面で支えているのがわかった。
- 家庭訪問に同行して、本人や家族が苦勞しながらも生き生きと暮らしている姿が印象的だった。
- 実際に昭和村で訪問看護を受けている方の家に行かせて頂き、色々な職種が連携していて、すごいと思った。村で1つとなり支えていると感じた。その人も思いを尊重する大切さを改めて実感した。
- 認知症カフェに参加し、近所同士の繋がりや深さ・地域の方々に寄り添う保健師の姿を見ることができ、地域に必要とされている医療人のあり方を知ることができた。
- すみれ荘に来ている方がみんな笑顔で帰って行ったのを見て、すごく良い場所だと思いました。

5 地域の医療職、役場職員との懇談

- 【日時】 8月6日(火) 18:30~20:00
【場所】 しらかば荘(大沼郡昭和村大字野尻字廻り戸1178)
【目的】 医療職や役場職員から、地域医療に対する考え方や体験談などを聞き、意見交換を行い、地域医療の見識を深める。

しらかば荘にて、昭和村国民保険診療所の今井所長、昭和村保健福祉課の永戸課長、酒井主任保健師、横田保健師に参加いただき、地域医療に対する考えや体験談、昭和村の保健福祉医療について聞き、意見交換をするなど、貴重な体験となりました。

お食事も地域の特産物をだしていただき、ここでも地域の魅力を感じることができました。



【参加者の声(事後アンケートより)】

- 住民の健康を守っている医師や役場の方とお話することができて、とても勉強になった。
- 住民のために村を良くしていこうという姿勢がかっこいいと思った。
- 地域のお医者さんと夕食を囲みながら、地域のことや医療のこと、そして生活の様子について様々な話をするのができ、とても貴重な時間を過ごせた。
- 夕食も地域の特徴が感じられ、ここでも地域の魅力を感じることができた。

6 只見町国民健康保険朝日診療所での研修

【日時】 8月7日（水）9：20～13：00

【場所】 只見町国民健康保険朝日診療所

（所在地：南会津郡只見町大字長浜字久保田31）

- 【目的】
- ①医療の現状や住民の考えを聞き、地域の実情について理解を深める。また、受診までの過程に同行することで、日常生活を送る上での大変さ等を体験すると共に、コミュニケーション能力を養う。
 - ②診療所の概要説明及び施設見学、医師との懇談を通して、へき地診療所の持つ役割について理解を深める。

□ 通院患者さんへのインタビュー

通院患者さんにご協力いただき、診察、薬の受け取り等一連の流れに同行させていただきながら、いろいろお話をお聞きしました。患者さんに日常生活の様子や医療の現状等お話を伺ったり、病院で働く、医師・看護師の様子から、地域で必要とされる医療人の姿について学ぶことができました。



□ 診療所の概要説明

若山所長から説明を受け、院内を案内していただきました。



【参加者の声（事後アンケートより）】

- 患者さんと沢山お話をすることができ、地域医療というのは医療者と患者がお互いの顔を知っているというのが良いところだと思った。
- 昔ながらの近所付き合いが残っていることが印象的で、このような住民同士の繋がりも地域医療を支えていることがわかった。
- いつも実習で行く病院との違いや同じところなどを見つけれられて良い経験になりました。患者さんが見知らぬ学生を受け入れてくれて嬉しかったです。

□ 医師との懇談

若山所長、森医師、村田研修医から朝日診療所の魅力や医師を目指したきっかけ等お聞きしました。

また、保健師志望の学生がいたことから、若山所長が急きょ只見町の菅野保健師さんをお呼びくださり、保健師の役割ややりがいについてお話を聞くことができました。



【参加者の声（事後アンケートより）】

- この地域で診察する意義を聞いたのが良かった。
- 話を聞いて、朝日診療所に興味を持ちました。
- 診療所をはじめとして、介護施設や特老、訪問診療や小規模多機能など、様々な期間が連携して住民の健康を守っていることがわかった。様々な施設がコンパクトに集まっている分、連携はとりやすそうだと感じた。医師の方がとても熱意があって、住民のことを大切にしていることがわかった。
- 現地で働いている保健師さんのお話を聞くことができ、将来についての明確な目標を作ることができた。みなさんの将来の目標や夢を共有できて、とても楽しい時間だった。
- ごはんを食べながらお話しするのは大変だった。話をする事自体は楽しかった。

7 研修まとめ、発表

- 【日時】 8月7日(水) 13:00~14:30
【場所】 只見町国民健康保険朝日診療所
(所在地: 南会津郡只見町大字長浜字久保田31)
【目的】 地域医療体験研修に参加して感じたこと、学んだこと等をまとめ、発表する。
【内容】 テーマ 「私たちのめざす看護」

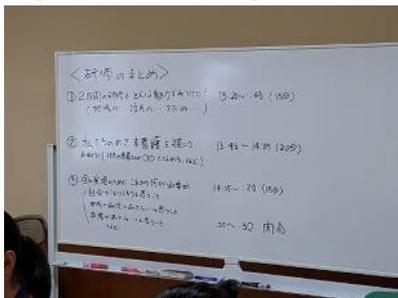
□ 1日目の研修のまとめ

ディスカッションの前に、「人工呼吸器になっても我が家で暮らすことができる村」をテーマに、1日目の研修内容を整理しました。



□ 研修のまとめ、発表

①「2日の研修で見つけた地域の魅力」、②「私たちのめざす看護」をテーマに、黒田主幹の進行で2グループに分かれ、ディスカッションしました。朝日診療所 五十嵐看護師長に参加していただきまとめを発表しました。



Aグループ

2日間の研修で見つけた地域の魅力

住民のあたたかさ・優しさ
「一人一人がとてもあたたかく、優しい」

住民同士の支え合い
・助け合い
「受診に付いてきてくれる」
「近所の繋がり」

住民同士の交流
「お茶飲み会」

総合的に支える仕組み
「村・町が一体となって支えている」
「住民のニーズに合わせて保健医療福祉システムを整えている」

医療スタッフの
チームワークの力
「関わる人みんなが情報共有している」

住民と医療スタッフ
の顔の見える関係



私たちのめざす看護

患者さん中心の看護

「患者さんの望む暮らし」
「住民がその人らしく生活できる」・
「患者さんが笑顔になれる看護」

患者さんが
安心できる看護
「患者さんに寄り添う」
「1人1人をよく見たい」

患者さんを笑顔に
できるような看護
「元気づけられるように」

患者さんにとって
身近な存在になる
「患者さんと密に関われるようになる」

予防
「診療所に通わなくても
いいように」

Bグループ

2日間の研修で見つけた地域の魅力

生き生きとした 住民の姿

「笑顔で生き生きしている」
「おおらか」

信頼・協力関係

「個人の思いを尊重」
「助け合い、支え合い」
「自分のことよりも他人の心配」

住民同士の 繋がりの強さ

「お茶会で情報が共有できる」

地元愛

「地域を大切にしている」
「不便な点を工夫して楽しんでいる」
「お米や野菜にプライドを持っている」
「自然が豊か」
「遠くから来てくれた医療スタッフ」

医療職と住民、スタッフ 同士の身近な関係

「一人一人の距離が近い」
「連絡が取りやすい」
「多職種の連携がとれている」



私たちのめざす看護

患者さんらしさ、笑顔を支える

「地域の人が笑顔で過ごせる」
「病気になっても好きなように生活できる」
「生きること自信を持てる」

身近な存在

「気軽に相談できる」
「住民に密着したサービスの提供」

予防

「健康で過ごせるように」

連携

「チームワーク」
「多職種連携」

A グループ



B グループ



【参加者の声（事後アンケートより）】

- 今回の学びや目指す看護について、他のメンバーと意見を共有することができて良かった。
- まとめをすることでみんなの思いを知り、新しい発見があった。

8 参加者の体験談

〔体験談①〕

看護師の仕事を改めて知ることができ、大変なことも多いが、患者との距離の近さ、優しさ、楽しさがあり、やりがいのある仕事だとわかった。また、患者さんが「看護師がとても丁寧で優しい」、「居心地の良い施設だ」と「満足している」という声が多く、大きな病院とは違う、施設や環境の良さに気づかされた。

沢山の人の意見を聞いたことで知ることも多く、看護師になることが楽しく感じた。また、他の学校の人と仲良くなることで、情報共有や意見を聞くことができ、もっと長い時間過ごしたいと思えた。とても楽しい2日間でした。

〔体験談②〕

研修に行く前は、地域医療についてよくわからずに行きました。2日間の研修で地域医療の現状やこの地域で医療を提供している素晴らしさを知ることができました。また、お会いしたどの方も笑顔で私たちのことを歓迎して頂き、人の温かさにも触れることができました。

2日間の研修を終え、地域医療に携わってみたいと思うようにもなり、自分自身の将来に対して考えさせられるいいきっかけにもなりました。一年生で参加してわからないことや戸惑うところも多かったですが、とてもいい経験になり、これを次に生かしたいと思いました。

〔体験談③〕

研修で出会った住民の方は、この地域での生活を楽しんでいて、生き生きとした様子でした。このような生活を支えているのは、奥会津地域の保健医療福祉システムが住民のニーズに沿って整えられていることや、住民同士の支え合いだと思いました。学校の講義だけではわからなかったことや地域医療の良さを知ることができました。奥会津地域の魅力をもっとたくさんの人に知ってもらいたいです。

〔体験談④〕

私は研修に参加する前は、奥会津について何も知らなくて、昭和村や只見町も名前は聞いたことあるなと思う程度でした。しかし、今回の研修に参加して一泊二日とは思えないほどの中身の濃い学習をさせて頂けたことで、昭和村の魅力や地域の繋がりのすばらしさを知ることができました。「地域医療」と言葉で聞いてもパッとしないものも、実際に見たり、聞いたりすることで、十分に良く理解できました。また、医療従事者の方々とお話できる機会が沢山あり、学生から質問をしても親切に答えて下さり、嬉しかったです。

おいしい食事を食べながら現地の医療職の方々と懇談した時間は大変貴重で普段では絶対にできない体験だろうと感じました。他校の学生との交流もできてとても良い研修でした。

〔体験談⑤〕

私は今回、この研修に参加してとてもよかったです。実際に地域の保健師さんと話すことができたり、地域でどのような医療が行われているかなどを自分の目で見て感じる事ができました。実習などではわからないようなことも、今回の研修を通して学ぶことができたのではないかと思います。将来の自分を見つめる良い機会にもなりました。

私は友達とではなく、一人で申込みをしました。初めは緊張して誰とも話せずに2日間が終わるかなと思っていたけれど、すぐに打ち解けて楽しい時間が過ごせました。思い出としても残る良い研修になりました。迷っている人にはぜひ参加してほしいです。スタッフの方も優しくて、そういうところからも不安がなくなりました。



令和元年度 看護学生のための
地域医療体験研修 報告集

令和元年 10月 発行



福島県 会津保健福祉事務所
福島県 南会津保健福祉事務所
総務企画部 総務企画課
電話番号 0242-29-5506
FAX 0242-29-5509
aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp